

投光器 学習版

国 労 東 海 貨 物 協 議 会
2013 年 12 月 10 日 No.47
発行責任者 鈴木 和巳

会社は減収・増益、社員は減収・増苦

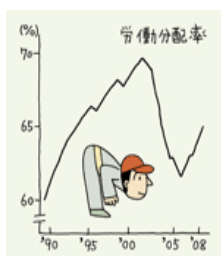
本日は年末手当支給日です！ 夏に続き社員の生活は四苦八苦！

嬉しいような悔しいような年末手当の支給日です。貨物社員にとって期末手当はまさに生活給。住宅・教育・自動車など各種ローンの支払いは待たなしです。会社が明らかにしたように、夏季手当では全国的に40名以上の社員が手当からのローン引き落としが出来ない状況が生まれました。今回の年末手当でも相当数の引き落とし不可能な社員が出ることは間違いありません。

貨物社員の生活は逼迫し、年配者は住宅ローンの返済計画見直し、子供の教育資金の捻出など、又、青年層に至っては結婚計画や趣味など今後の人生設計にも大きな計画変更が必要となります。



いつになれば我々の生活改善は出来るのか？



若干の黒字を計上し続けてきた貨物会社ですが、昨年に出された経営自立計画により急激に変更された貨物会社の経営姿勢に社員は振り回されっぱなしです。

そもそも鉄道事業部門では成り立たないため、国鉄から引き継いだ用地等の売却及び活用した関連事業等を行うことにより経営をスタートした貨物会社です。平成30年までに100億円の黒字を目指す会社の姿勢は如何にも性急であり、現在までの改善は人件費を中心としたコスト削減でしかありません。

このままで良いのでしょうか？

現在まで、この学習版では「労働組合の果たす役割」等を中心に皆さんに訴え続けて来ました。労働者の生活を守るため会社経営や体力を分析し、会社の施策が適切なのか、安全性や労働者への分配が正当なのかどうかを判断し、労働者の要求実現に向けて闘うことが労働組合の役割です。

「労使協調組合がこれらを出来るかどうか良く考えて貰いたい」と再度訴えます。

気持ちを切替え、我々の要求を春闘に繋げよう！

暗く辛い貨物社員ですが、いつまでも下を向いてはいられません。労働者として与えられた仕事をきっちりとこなし、要求改善に向けて今後の闘いに備えなければなりません。国労は既に春闘に向けて動き出しています。また、その前にはダイヤ改正も控えていますので落ち込んでばかりはいられません。



世の中を見れば非正規の労働者も大勢います。

全ての労働者の待遇改善や国民的諸課題の解消に向けて頑張りましょう！

この投光器学習版は国労東海本部のホームページにも掲載されています。

国労東海本部のURLは <http://www.kokurotokai.com> です！